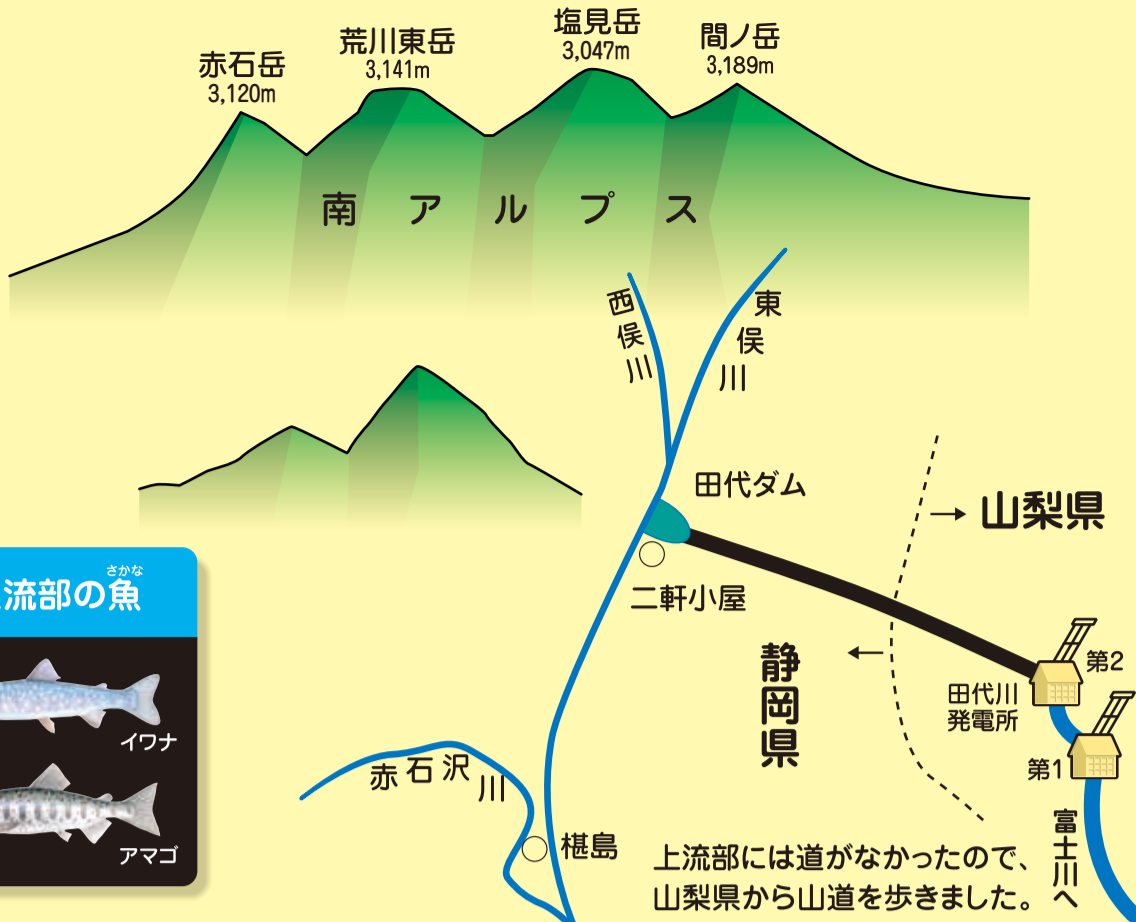


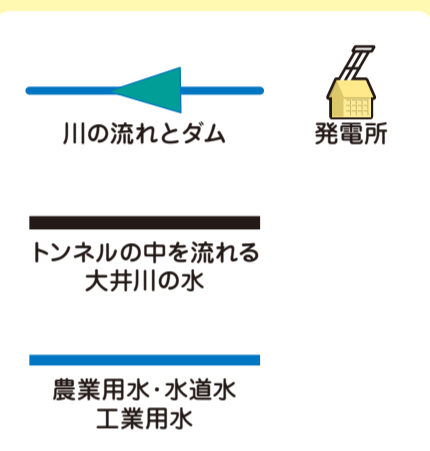
70年前の大井川絵地図



上流部には道がなかったため、山梨県から山道を歩きました。林業がさかんで、川の流れを利用して木材を流したこともあります。

うなぎやアユは、大井川寸又川など最上流部までのぼってアユは秋、海へ行くころには千頭ダム 30cmになったといひます。

保存版



石のこと

- ★上流部はとがった大岩
- ★中流部は丸い大石、中石
- ★下流部は丸い小さな石、砂利
- ★海岸は小砂利と砂

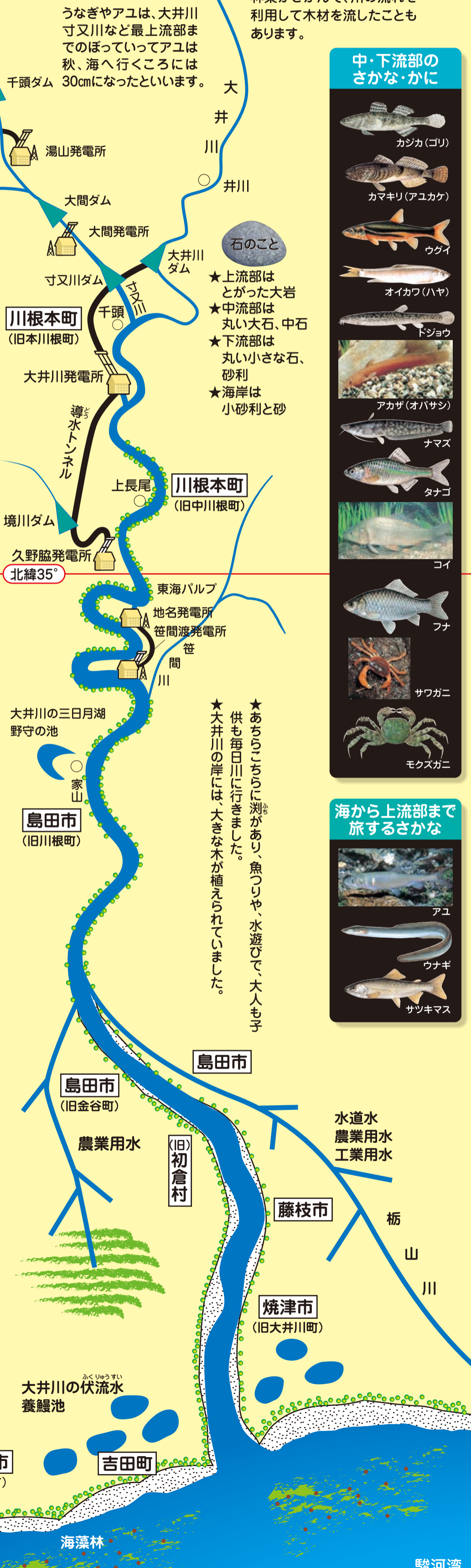
中・下流部のさかな・かに



大井川の働きと水のゆくえ

南アルプスなどの山々にたくさんの雨や雪が降ります。(年間雨量3,500ミリ)

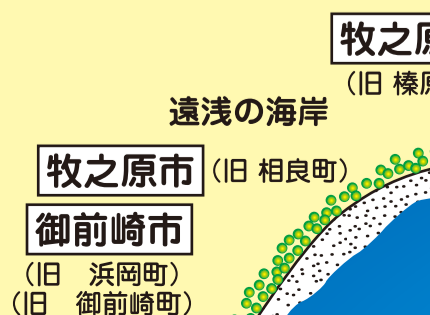
- 台風などの洪水時には大量の土砂を海まで流し、海岸の砂浜や大陸棚を作ります。
- ふだんの雨は、森林がたくわえ、少しずつ川に流してくれます。このとき、森林の栄養分を水の中に入れて流します。
- あちこちの沢や支流の川の水が集まって中流から下流に下り豊かな流れとなって駿河湾に流れ込みます。
- おいしい川の水は海の中に海藻林を育てて海の生きものが育ちます。
- やがて、海の水が蒸発して水蒸気が立ちのぼり山に雨を降らせ、海から川へ魚(鮎やうなぎなど)が遡上します。生物にとっても循環のパイプは川です。このことを山・川・海の自然循環といひます。



★あちらこちらに淵があり、魚つりや、水遊びで、大人も子供も毎日川に行きました。

★大井川の岸には、大きな木が植えられていました。

牧之原台地は明治時代に開拓された大茶園です。水の少ない土地のために茶の木を育てるのが大変でした。そのため現在は大井川の水を送る農業用水路が作られています。



駿河湾